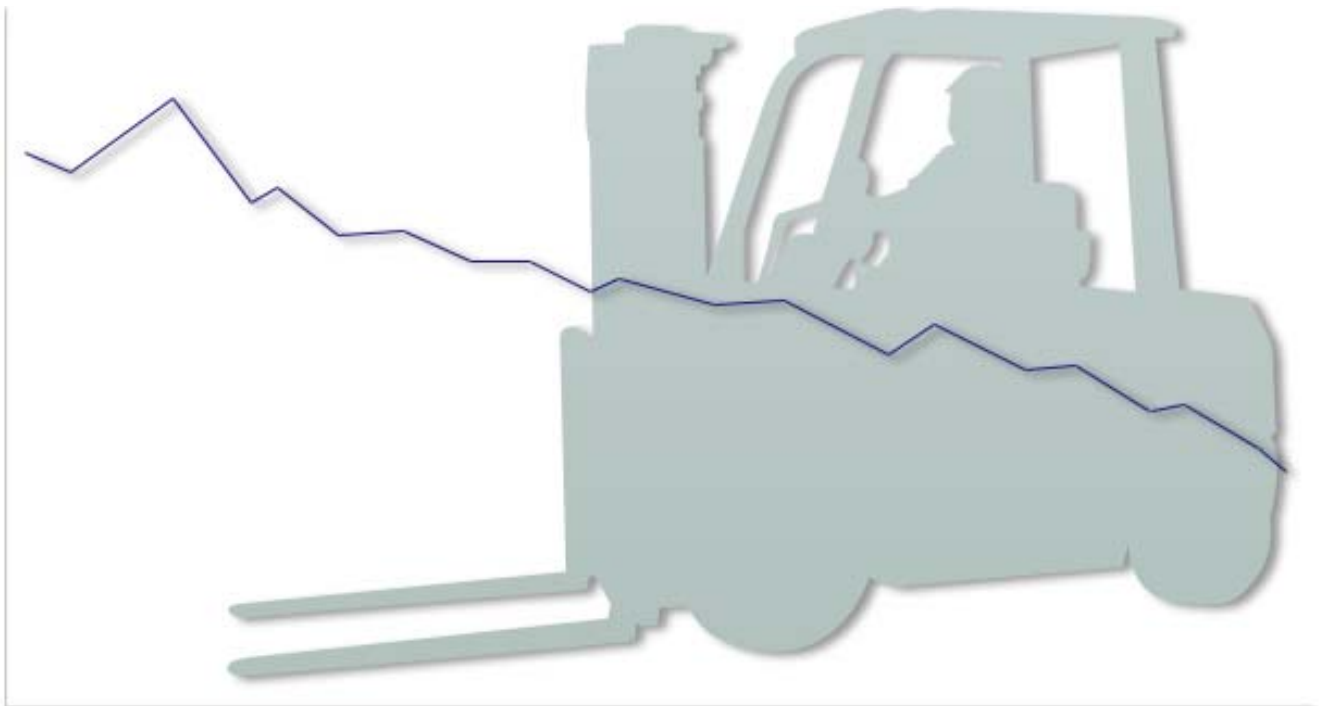


COST DOWN

# 物流コストダウンのご提案



「物流費を見直す」と方針が出た場合  
どこから着手しますか？

## 物流コストの再定義

お客様の物流コストを、私たち合通が削減する場合、  
「物流」部門の経費削減だけに取り組むわけではありません。  
物流が関わるあらゆる部門の現状、問題点を見据えたうえで  
コスト見直しをはじめます。

創業以来、あらゆる業種業態、企業規模のお客様とのお取引を通じて  
蓄積した私たちのノウハウをご提供致します。

### ■コストの明確化

「物流コスト削減」と聞いて漠然としたイメージしか持てない方も、具体的な勘定科目ベースでの削減案を思いつかれた方もおられるのではないのでしょうか。  
一口に、物流と言っても、会社によっても、人によっても、その定義はまちまちです。  
まず、御社の物流を再定義することから始めます。

**支払物流費**・・・ 物流会社・人材派遣会社・業務請負会社・ITベンダーからの請求書を見れば判ります。

- ・ 運賃
- ・ 保管料
- ・ 作業料（荷役）
- ・ 作業料（加工など）
- ・ 事務手数料
- ・ システム使用料（物流会社が提供するWMSなど）

合通のWMSサービス

**非支払物流費**・・・ 定義がマチマチになり易い部分です。

- ・ 物流部門に関わる人件費
- ・ 物流部門に関わる設備費（事務所など諸経費）
- ・ マテハン費用（パレット、保管器具など）
- ・ 拠点物件費（倉庫、センターなど）

**隠れた物流費**・・・ 見落としがちな部分です。双方で確認していきます。

- ・ 営業コストに含まれる物流費
- ・ 物流部門の応援に駆けつけた製造部門の人件費

## 物流コストの削減提案

現状を見直し、お客様に適した物流コストを再定義、  
実際のコスト削減に向けて、詳細を詰めていきます。

### ■物流システム フロー（物の流れ）の再定義

物流コストを定義できたならば、次はモノの流れを定義します。

実際にモノはどのように搬入されているのか？  
どのように保管されているのか？  
どのようにお客様に届いているのか？  
どの部分でコストがかかっているのか？  
それは適切なものなのか？

求められている物流コスト削減が またその時々的情勢によって速攻性の強いもの、  
根本的な解決策など要求は様々です。

コスト削減に当たっては、現実を直視すると同時に、最適な物流を  
ゼロベースで考えることが必要です。  
お客様とともに、私たち 合通は 実際のモノの流れを、あらゆる角度から検証します。

荷物



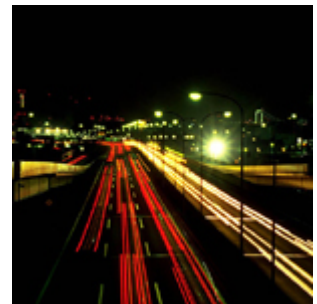
どこから配達されているのか  
どのような荷姿なのか  
梱包の強度は適切か  
破損品の発生頻度は多いのか

保管



倉庫はどこにあるのか  
倉庫は何ヶ所あるのか  
倉庫以外に保管しているか  
収容能力は適切なのか  
季節波動に対応できるのか

輸送



いつまでにお届けするのか  
どのような手段を用いるか  
いつまでに出荷しないと  
いけないのか  
災害時の代替案はあるのか

## 物流コストの削減提案

### ■ 物流コスト削減 ターゲットの絞込み

これまでの取り組みで定義したコスト範囲を明確にし、現状を把握し、最適な物流システムを定義できたならば、次に、どの部分のコストを削減対象・削減目標にするかをお打ち合わせいたします。お客様の物流だけでなく企業文化も理解し、目標達成のために最適な物流技術・手段を組み合わせます。

#### 調整



現状改善を行う際、総花的で、期限が曖昧な削減案を実行すれば、効果は目に見えません。かえって「現場に混乱を残しただけ」という印象を残しかねません。

物流コスト削減の結果を損益計算書上に残すために、全社的な視野に立って、物流部門以外の各部門との利害関係の調整が必須です。それが、物流コスト削減をより効果的で実行力のあるものにします。

- ・ 物流コスト削減のために、納期を犠牲に出来るか
- ・ 物流部門以外で、人的・コスト的負担は回避できるのか
- ・ どこまでの納品レベルが必要なのか
- ・ あえて在庫を増やし、総SCMコストを下げることはできるか

## 物流コストの削減の実現へ

今までのプロセスで決まったターゲットと期間で、所期の結果を出すために、私たち合通は、自社アセット、協力会社を駆使した物流手段をご提供できます。また、継続的な物流コストの削減、物流手段の提供も、永年の実績と自社アセットを持つ私たちなら可能です。